



Rocking Out Biophysics

IUPAB2024 Fundraising Prospectus

◆募金趣意書◆

contents

**第21回国際生物物理会議 (IUPAB2024)
寄付金募集要項**

1. ご挨拶
2. 開催概要
3. 募集要項

【はじめに】

この度、私たちは'Rocking out Biophysics'というテーマの下、国際会議IUPAB2024を開催します。本会議は、2つの学術団体すなわち日本生物物理学学会および国際純粋・応用生物物理学連合(IUPAB= International Union for Pure and Applied Biophysics)が共同で、IUPAB2024を第62回日本生物物理学会と21st IUPAB Congressの合同会議として開催します。かつてない規模で国際色豊かな年会となります。日時および開催地は以下の通りです。



日時：2024年6月24日(月)～6月28日(金)

開催地：国立京都国際会館及び京都大学

1

IUPAB2024の目的

日本生物物理学学会年会とIUPAB Congressとの合同開催は1978年の京都大会に続き2回目となります。1978年会議は、国内の生物物理学研究者が世界の研究者と交流する大きな契機となりました。今回、46年を経て2回目の合同開催をする目的は「世界の優秀人材層を日本に引きつける」ことにあります。すなわち、第1回合同大会が「世界につながる」ことを主眼に置いていたことに対し、今回は「海外人材を日本に惹きつける」ことを主眼としています。

2

'Rocking out Biophysics' 生物物理を革新する

'Rocking out~'には「~をゆさぶる」という意味があります。本会議のテーマには「既存概念をゆるがし、新しい生物物理を生み出そう」という思いを込めました。会議の顔となる基調講演は、私たちが Rocking out していると考える David Baker博士、Feng Zhang博士、安藤敏夫博士の3名の方々にお願いしました。D. Baker博士はタンパク質構造予測プログラム Rosettaの開発にはじまり、タンパク質設計学で他の追随を許さない業績をあげています。F. Zhang博士は、CRISPR-Cas9を用いた真核生物におけるゲノム編集技術を世界に先駆けて達成するなど革新的技術を多数開発しています。そして、安藤敏夫博士は日本の生物物理学が誇る高速原子間力顕微鏡を世界で初めて開発し、生体分子・生体システムのダイナミクスを次々と明らかにする研究で世界をリードしています。彼らに象徴される新概念・新技術をIUPAB2024から発信していきたいと考えます。

'Rocking out Biophysics' 生物物理で盛り上がる

'Rocking out~'には「~にノリノリになる」という意味もあります。学会の楽しみの一つは、非日常的空間で存分にサイエンスを楽しむという点にあります。日本生物物理学学会の年会は、自由闊達で活気溢れる雰囲気です。この自由でオープンな文化は、日本生物物理学学会のDNAであり、海外からの優秀研究者を惹きつける装置です。IUPAB2024は、この自由闊達な雰囲気をさらにパワーアップし、シニアから若手、そしてアカデミアから産業界まで、参加する皆さんが楽しめるいろいろな仕掛けを計画しています。



Prof. David Baker



Prof. Toshio Ando



Prof. Feng Zhang

3

国際化戦略とIUPAB2024

IUPAB2024開催は、日本生物物理学学会が綿々と紡いできた長期にわたる国際化戦略の集大成です。少子化の流れは研究人材の枯渇につながっており、生物物理学分野も例外ではありません。我々は、国内若手人材の育成を最優先する一方で、海外人材を引き寄せることに長年取り組んでいます。まず、我々は他の学術団体に先駆けて、通常年会の使用言語を英語化しました。現在、全て発表は英語でなされており、中国・韓国・台湾など東アジアを含め国外からの出席者は順調に増加しています。また、日米・日豪・日中・日韓・日印の2国間国際シンポジウムを年会で定期開催し、海外の優秀な研究者と交流する基盤を整備しています。加えて、2022年度より学生会員の会員費を0円とすることで、国内外の若手が参加するハードルを極限まで低減させました。また、我々の学会では英文誌*Biophysics and Physicobiology*を2005年から発刊しています。掲載論文数も年々増加しており、本年度IFも所得しました。このように、日本生物物理学学会は長期国際化戦略に沿ってさまざまな施策を実行しています。IUPAB2024は、この戦略的国際化の集大成であり、本学会は総力を上げてIUPAB2024を成功させます。

4

若手対象プログラム ‘Hands-on training program’

本合同年会のもう一つの目玉は、海外若手研究者を対象としたHands-on training programとなります。これは、合同年会とは別に、日本の生物物理学研究を代表する研究機関・研究プロジェクトがホストとなり、海外若手研究者に日本の生物物理学を体験してもらう特別プログラムです。すでに、金沢大学による高速AFMプログラム、阪大及び理研による高度バイオイメージングプログラム、理研による分子シミュレーションプログラムの実施が決定しており、今後さらに特徴あるプログラムを設定する予定です。このプログラムの効果を最大化するために、年会では連動したシンポジウムを設置し、基礎から最先端まで幅広いスペクトルのコンテンツを世界の若手研究者に提供することで、若手研究者を日本に惹きつける仕掛けとしたいと考えています。

5

産業界との交流

私たちは、学会とは研究者だけの組織ではなく、企業展示や人材発掘のために本学会に足を運ぶ企業の方々と共に形成するエコシステムであると考えます。毎年の年会では「企業との交流会」を開催することで、ランチョンセミナー・企業展示等の制度を共改善しています。2022年度年会では、アカデミアによる起業化アイデアを産業界のメンバーが評価する「企業参画型ピッチコンテスト」も開始し、企業・産業界との新たな接点・共創活動を検討しています。本年会でも、企業展示・ランチョンセミナー等を介した商品・サービスのアピールの場に加えて、学会会員と企業の方々との交流を促進するような斬新なアイデアを検討しています。

【お願い】

以上の通り、日本生物物理学会は、‘Rocking out Biophysics’というテーマのもと、本学会らしいオープンで自由闊達な議論を醸成し、国内及び国外、シニアから若手まで、アカデミアから産業界まで活発な交流を可能とする年会を開催します。一方で、この目的達成のためは、会場の設営や運営等には多大の費用を必要とします。みなさまにはIUPAB2024開催の意義や会議テーマに対するご理解をいただいた上で、力強いご協力をお願いできれば 幸甚です。是非、共にこの生物物理学の大きなお祭りを盛り上げたいと思います。

Let's Rocking out Biophysics!

野地 博行

第21回国際生物物理会議
会長 野地 博行
東京大学大学院工学系研究科 応用化学専攻



名称	和文名： 第21回国際生物物理会議(略称:IUPAB2024) 第62回日本生物物理学学会年会 英文名： 21st IUPAB Congress 2024 The 62nd annual meeting of BSJ
主催機関	主催： 国際純粋および応用生物物理学連合 (IUPAB) 一般社団法人 日本生物物理学学会(BSJ) 日本学術会議 実行機関:第21回国際生物物理会議 実行委員会
会期	2024年6月24日(月)~6月28日(金)[5日間]
開催場所・会場	国立京都国際会館 〒606-0001京都市左京区岩倉大鷲町422番地 京都大学理学研究科セミナーハウス(市民公開講座のみ)
会議のテーマ	Rocking out Biophysics 「メンバーが自由闊達に交流できるオープンな文化を醸成するプラットフォーム」としての場を大事にし、日本から既成概念を打破する独創的生物物理学研究が生まれ続ける素地を整える。この思いが‘Rocking out Biophysics’に込められています。すなわち、「既存の生物物理学を思いっきり揺るがし新概念や新技術を生み出そう」という思いを表しています。そのために、シニアから若手、アカデミアから産業界、参加するメンバーがその属性を超えて自由闊達に交流する場を提供します。この学会としての精神の若々しさは、海外の優秀研究者を惹きつけるためにも極めて重要であると考えています。
参加予定者数	国外 500人 国内 1,200人 計 1,700人 69カ国/地域 [参加国・地域] アイスランド、アゼルバイジャン、アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、エクアドル、エジプト、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、クウェート、クロアチア、ケニア、コロンビア、ジョージア、シンガポール、ジンバブエ、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロベニア、セルビア、タイ、台湾、チェコ、中国、チュニジア、チリ、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ノルウェー、パナマ、パラグアイ、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベネズエラ、ベラルーシ、ペルー、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、ホンジュラス、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モロッコ、モンゴル、ヨルダン、ラトビア、ルーマニア、他(予定)
IUPAB 過去開催履歴	20回:2021年 ブラジル(オンライン) 19回:2017年 イギリス 18回:2014年 オーストラリア 17回:2011年 中国 16回:2008年 アメリカ 15回:2005年 フランス
会議の意義と開催目的	日本生物物理学学会年会とIUPAB congressとの合同開催は1978年の京都大会に続き2回目となります。1978年の合同開催は国内の生物物理学研究者が世界の研究者と交流する大きな契機となりました。今回、56年を経て2回目の合同開催をする目的は「世界最高水準の日本の生物物理学及び関連技術を発信し、世界の優秀人材層を日本に引きつける」ことにあります。わかりやすく言い換えるならば、第一回合同大会が「国内人材を国際的研究ネットワークの中に押し出す」ことを主眼に置いていたことに対し、今回は「海外人材を日本に惹きつける」ことを主眼としています。

会議構成・開催概要

1) 会議の構成 (予定)

基調講演、パラレルセッション、エデュケーショナルセミナー、一般演題 (ポスター発表)、市民公開講座、共催セミナー (ランチョンセミナー、スポンサードシンポジウム、モーニングセミナー)、企業展示 他

2) 会議使用言語

英語、一部日本語 (市民公開講座)

日程表 (予定)

会議日程	午前	午後	夜
6月24日(月)		受付開始、開会式、基調講演、 パラレルセッション	Welcome Reception
6月25日(火)	モーニングセミナー、基調講演、 パラレルセッション	BPセミナー、ポスターセッション、 パラレルセッション	Sake Night
6月26日(水)	モーニングセミナー、基調講演、 パラレルセッション	BPセミナー、ポスターセッション、 基調講演	
6月27日(木)	モーニングセミナー、基調講演、 パラレルセッション	BPセミナー、ポスターセッション、 パラレルセッション	Conference Dinner
6月28日(金)	モーニングセミナー、基調講演、 パラレルセッション	BPセミナー、ポスターセッション、 閉会式、市民公開講座	

会長	野地 博行	東京大学大学院工学系研究科
副会長	由良 敬	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系
事務局長	田端 和仁	東京大学大学院工学系研究科
委員	今田 勝巳	大阪大学大学院理学研究科
	永井 健治	大阪大学産業科学研究所
	西坂 崇之	学習院大学理学部
	林 久美子	東京大学物性研究所
	高橋 聡	東北大学多元物質科学研究所
	高田 彰二	京都大学大学院理学研究科
	寺川 剛	京都大学大学院理学研究科
	今村 博臣	京都大学大学院理学研究科
	中村 秀樹	京都大学白眉センター/大学院工学研究科
	片山 耕大	名古屋工業大学大学院工学研究科
	細川 千絵	大阪公立大学大学院理学研究科
	三田 真理恵	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	谷 知己	国立研究開発法人産業技術総合研究所
財務グループ	今田 勝巳	大阪大学大学院理学研究科
	永井 健治	大阪大学産業科学研究所
	田端 和仁	東京大学大学院工学系研究科
プログラム委員会 委員長	西坂 崇之	学習院大学理学部
委員	林 久美子	東京大学物性研究所
	坂内 博子	早稲田大学理工学術院先進理工学部
	西山 朋子	京都大学大学院理学研究科
	杉田 有治	理化学研究所生命機能科学研究センター
	大浪 修一	理化学研究所生命機能科学研究センター
	古賀 信康	大阪大学蛋白質研究所
IUPAB2024事務局	(株)コンベンションリンケージ内 〒102-0075 東京都千代田区三番町2 TEL: 03-3263-8698 FAX: 03-3263-8693 E-mail: sp-iupab2024@c-linkage.co.jp 学会ホームページ: https://www.c-linkage.co.jp/iupab2024-bsj-kyoto/	

<収入の部>				
科目		単価	数量	合計
1. 参加費（現地参加・Web参加は同額）			1,700	68,300,000
1. 早期事前登録				
	一般参加者（Standard）：会員	50,000	700	35,000,000
	一般参加者（Standard）：非会員	70,000	20	1,400,000
	学生（Student）：会員	30,000	330	9,900,000
	学生（Student）：非会員	50,000	15	750,000
2. 事前登録・オンサイト登録				
	一般参加者（Standard）：会員	70,000	60	4,200,000
	一般参加者（Standard）：非会員	90,000	90	8,100,000
	学生（Student）：会員	40,000	25	1,000,000
	学生（Student）：非会員	60,000	10	600,000
3. 事後オンデマンド視聴登録				
	一般参加者（Standard）：会員	30,000	40	1,200,000
	一般参加者（Standard）：非会員	40,000	10	400,000
	学生（Student）：会員	20,000	15	300,000
	学生（Student）：非会員	30,000	5	150,000
4. 招待者（シンポジウムの座長・シンポジウムのInvitedスピーカー、プレナリーは無料）				
	招待者：会員	0	150	0
	招待者：非会員	0	230	0
5. その他				
	同伴者（Accompanying Person）	10,000	50	500,000
	バンケット（Banquet） * 招待者は無料	10,000	480	4,800,000
2. 協賛関連				40,794,000
1. パッケージプラン				16,170,000
	ダイヤモンド	4,950,000	1	4,950,000
	ゴールド	2,860,000	1	2,860,000
	シルバー	1,870,000	2	3,740,000
	ブロンズ	1,540,000	3	4,620,000
2. 共催セミナー・シンポジウム				9,130,000
3. 付設展示会				9,735,000
4. 広告				5,759,000
3. 寄付金・助成金				26,400,000
	IUPAB支援金(6万ユーロ、1ユーロ140円換算)			8,400,000
	寄付金			10,000,000
	助成金			4,000,000
	国費（希望）			4,000,000
				135,494,000
<支出の部>				
科目		合計		
I	事前準備費	21,990,955		
1	事務局費	7,255,000		
2	旅費・宿泊費	1,440,000		
3	庁費	13,295,955		
II	当日運営費	102,300,000		
1	運営人件費<6日間（設営含む）>	11,194,000		
2	旅費	20,444,000		
3	庁費	70,662,000		
III	事後処理費	982,318		
1	人件費	850,000		
2	旅費	100,000		
3	庁費	32,318		
小計		125,273,273		
消費税		10,220,727		
合計		135,494,000		

寄付金 募集要項

1. 募金名称:IUPAB2024 寄付金
2. 募金目標額:10,000,000 円(経費総額 135,670,000 円)
3. 募金期間:2023年8月1日(火)~2024年6月22日(土)
4. 寄付の用途:IUPAB2024 および関連諸行事の開催、運営費に充当する。
5. 募金責任者:第21回国際生物物理会議(IUPAB2024)
財務グループ委員長 今田 勝巳

6. 寄付金を必要とする理由:

IUPAB2024の開催に際しましては、約1,700名の参加が予想され、開催に要する費用は135,494,000円と推計されます。

これらの諸経費は、学会補助金、参加費等で賄うのが基本ですが、個人参加者の負担にも限度があります。また、節約による経費削減につとめ、必要経費の圧縮をはかる方針ですが、その努力にも限りがあり、必要経費の相当額は関係諸団体や企業の寄付に頼らざるを得ないのが実情であります。必要経費135,494,000円のうち、10,000,000円を寄付金により充当したいと考えております。

諸事多端の折から、誠に恐縮ではございますが、本会の実情と将来性をご賢察の上、何とぞ格段のご援助並びにご高配を賜りたく心よりお願い申し上げます。

なお、寄付金として各社が公表することに同意いたします。

7. お申し込み方法

本趣意書にご賛同・ご支援いただけます場合、学会ホームページ内「SPONSORSHIP & EXHIBITION」ページに掲載の「Sponsorship Application System」よりお申し込みください。

8. 寄付金振込口座

お申し込み後、下記の銀行口座へ金額をお振込みください。

銀行名 : 三井住友銀行

支店名 : 赤坂支店(店番号: 825)

口座番号 : 普通 9844959

口座名義 : 第21回国際生物物理会議及び第62回日本生物物理学会合同年会 会長 野地博行

フリガナ : タ イジ ユウイカコサヘイブ ツブ ツリカキ オヒ タ イロクジ ユウニカニホセイブ ツブ ツリガ ッカコ ウド ウネンカイ
カチョウ ノジ ヒロキ

※振込手数料はご負担ください。

※銀行発行の振込控をもって当方の領収書に代えさせていただきます。

※手形等によるお支払いはご遠慮ください。

9. 税法上の取り扱いについて: 免税措置はありませんので、予めご了承ください。

【お問い合わせ】

IUPAB2024スポンサー事務局(株)コンベンションリンケージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町2

TEL: 03-3263-8698 FAX: 03-3263-8693

E-mail: sp-iupab2024@c-linkage.co.jp

学会ホームページ: <https://www.c-linkage.co.jp/iupab2024-bsj-kyoto/>